

2015年5月9日(土)

# 募金活動や 現地入りも NPO法人など

ネパール大地震から9日で2週間。兵庫県内では被災者を支援するための募金活動が広がっている。ただ、まだ支援が行き届かず、各団体の担当者は「息の長い支援が必要」と協力を呼び掛ける。

これまでの活動で結びつきがあった団体などと協働し、独自の支援活動に取り組む団体は多い。緊急支援物資の提供だけでなく、スタッフが被災地に入り、今後の支援活動を模索する団体もある。

「息長く」ネパール支援 県内で拡大

兵庫県内でネパール大地震の募金活動に取り組む主な団体と内容

団体名	内容	連絡先
NPO法人シーズ・アジア	テントや毛布、衛生キットの調達、倒壊した学校の仮設校舎となる大型テントの提供などに充てる	078・766・9412

また、小売店の店頭「され、日本赤十字社な役立てられる。  
などでも募金箱が設置」を通じて「現地支援に」  
(高田康夫)